

すばる高校を校長が訪問

校訓 「今が大切」
 京都府立京都すばる高等学校

夏休みの一日関西方面に行く機会に恵まれ、関西にある昴校を訪ねてみました。

校長 柴田 淳



京都昴高校正門

まず最初に京都府立京都すばる高等学校を紹介いたします。京都すばる高等学校は昭和59年に京都府立

報科学科「企画科」と四学科各学年八クラス編成です。生徒達は京都全府から集まっています。ロケーションは良く、京都駅から近鉄（地下鉄でも）で奈良・伏見方面に約二〇分の向島という駅から徒歩10分の田園

商業高等学校としてスタート、平成15年に情報に関する学科を加え、「京都府立京都すばる高等学校」として新たにスタートし、現在は「会計科」「ビジネス探求科」「情報科学科」「企画科」と専門学科なので目的意識も高く関連資格を取得してそれを生かして進学していくようです。



コンピュータは3年に1度更新する

さて、この日は真夏の暑い一日でしたが、部活動の生徒を始めとして、資格取得補習や英語の補習、パソコンを使っている課題研究等のために大勢の生徒が学校に来て勉強をしていました。

校長先生も「資格取得や、進学就職等のために多くの先生方が夏休みでも、時間を割いて生徒を指導しています。」とのこと、校長室を始めとして、各教室にもエアコンがあり、快適な環境の中勉強出来るようになっていきます。国際交流では韓国「徳壽情報高等学校」との交流もあるとのこと、専門高校らしくコンピュータ教室を始めとした、設

すばるの名前の由来ですが「統ばる」からきた言葉でまとまるという意味です。商業に関する学科と情報に関する学科が一つになる専門高校という意味が含まれています。また、

「すばる」は「統ばる」

冬の天頂に輝く星群「すばる」は美しい星であり、清々しい高校生たちを彷彿させるものであり、それも、すばる高校の教育目標にも合致しますとのこと。

備の充実が目を引きますが、実習が多いということと2クラスが同時に授業を受けられるちよつと大きめの部屋や、逆にちよつと小ぶりで小人数で勉強できる部屋もあり、普通科ではなかなか想像でき

ない、専門高校の中でも恵まれた施設になっています。



入りきれないほどのたくさんさんのトロフィーが並ぶ

最後に、すばる高校の生徒達は、服装もきちんとしてくれました。さすが商業や情報の専門高校とは思いますが、やはり「昴」高校としての自信と自覚があるなど大変、頼もしく感じられ学校を後にしました。

お土産は「昴せんべい」



本校からのお土産として「昴」せんべいをお渡ししましたが、お返しに「武士米」という、企画科の生徒が近隣の農家と共同企画した古代米をプレゼントされました。

専門学科ならではの取組みは大変興味深いものでした。



お返しは「武士米」